

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 21 年 6 月 18 日 (2009.6.18)

【公表番号】特表 2009-507234 (P2009-507234A)  
 【公表日】平成 21 年 2 月 19 日 (2009.2.19)  
 【年通号数】公開・登録公報 2009-007  
 【出願番号】特願 2008-529530 (P2008-529530)  
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 33/53 S

G 0 1 N 33/543 5 7 5

【手続補正書】  
 【提出日】平成 21 年 4 月 28 日 (2009.4.28)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

サンプル中の免疫抑制剤の存在又は量を決定する方法であって、  
 免疫抑制剤を含有する疑いのあるサンプルを準備するステップ、  
 サンプルをコンジュゲート及び免疫抑制剤に特異的なイムノフィリン受容体と混合して懸濁液又は溶液を形成させるステップであって、前記コンジュゲートは外来性免疫抑制剤又は薬剤類似物を含み、サンプル中に存在する免疫抑制剤及び前記外来性免疫抑制剤又は薬剤類似物がイムノフィリン受容体との結合について競合するものである前記ステップ、  
 イムノフィリン受容体に結合した免疫抑制剤の量、又は遊離状態の免疫抑制剤の量を測定するステップ、並びに  
 測定された免疫抑制剤の量とサンプル中の免疫抑制剤の存在又は量とを相関させるステップを含む前記方法。

【請求項 2】

サンプル中のラパマイシンの存在又は量を決定するものであって、  
 ラパマイシンを含有する疑いのあるサンプルを準備するステップ、  
 サンプルをラパマイシン二量体及びラパマイシンに特異的なイムノフィリン受容体と混合して懸濁液を形成させるステップであって、前記イムノフィリン受容体は検出粒子と結合され、サンプル中のラパマイシン及びラパマイシン二量体がイムノフィリン受容体との結合について競合し、イムノフィリン受容体とラパマイシン二量体との結合によって検出粒子が凝集するものである前記ステップ、  
 懸濁液中の粒子の凝集量を測定するステップ、並びに  
 測定された凝集量とサンプル中のラパマイシンの存在又は量とを相関させるステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

サンプル中の免疫抑制剤の存在又は量を決定するためのキットであって、  
 前記薬剤に特異的なイムノフィリン受容体、  
 外来性免疫抑制剤又は薬剤類似物を含むコンジュゲート、及び

アッセイを実行するための使用説明書  
を含んでなる前記キット。